

# IoTシステムの導入による防災対策の強化 【どこでも簡測】

## 概要

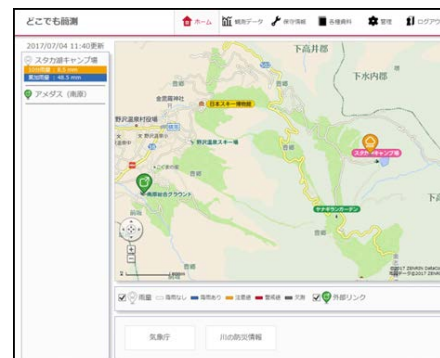
山間部へのIoTシステムの導入により、  
「タイムリーな雨量の把握」「アラートメールによる迅速な状況判断」が実現

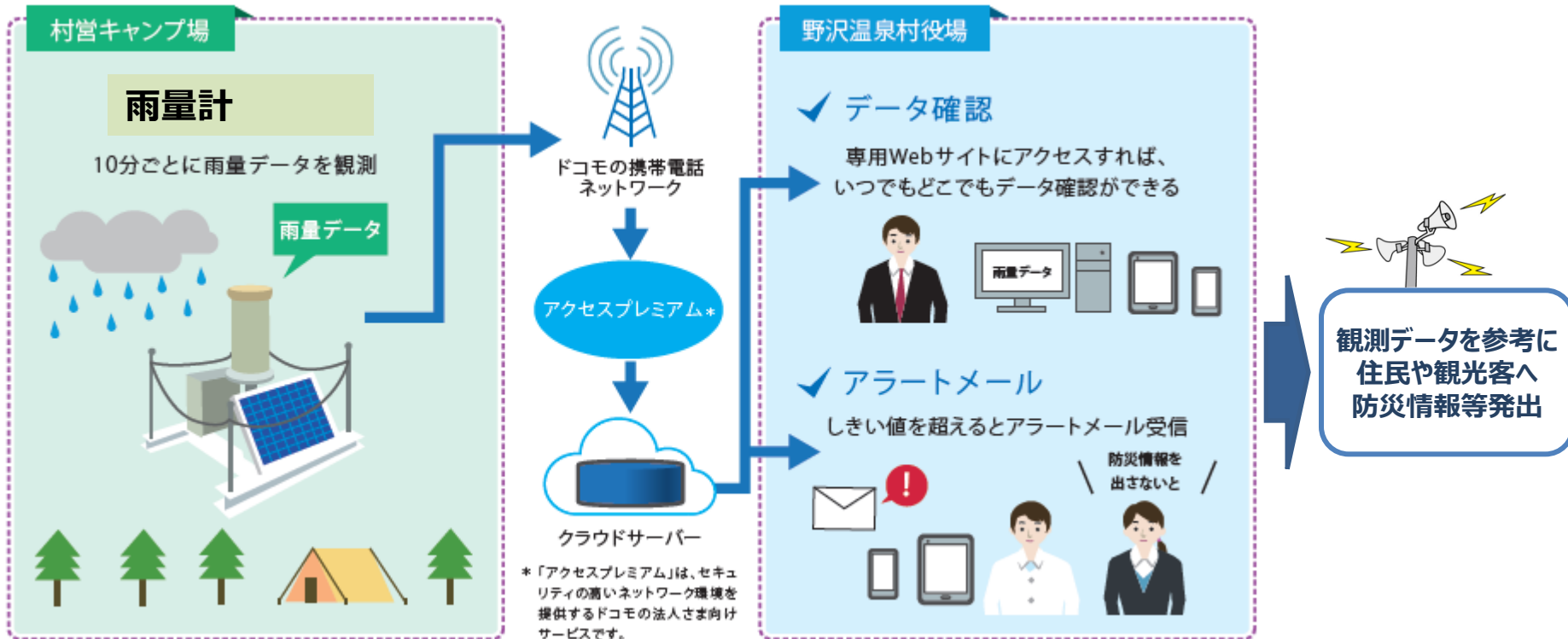
- ▶ 商用電源・アクセス回線の取得が困難な山間部で、**ソーラーパネル・通信モジュール搭載の雨量計**を導入。
- ▶ クラウドサービスなので、**庁舎内外どこからでもデータの確認が可能**。専用サーバー設置や管理も不要。
- ▶ 雨量が設定したしきい値になると、**自動で関係者向けにアラートメールが配信**され迅速な防災対策が可能。

雨量計



Webサイト





## 導入前

山間部には、国や県の雨量計がなく、リアルタイムに把握する方法がなかった。雨水が、急こう配の沢を流れて温泉街に到達する頃には、避難勧告が間に合わず手遅れになりかねない状況であった。



## 導入後

### 野沢温泉村役場（しごと）

- ・防災担当・観光担当・建設担当
- ・キャンプ場・消防署 等関係者



### 村民・観光客（くらし）

従来よりも、避難勧告の発令が迅速化されるため、早めの避難行動が可能に。

- ・ 役場周辺では検知できない**山間部の雨量をリアルタイムに取得**できるようになった。
- ・ アラートメールの配信により、**警戒値雨量を超えた場合の迅速な判断・行動が可能**となった。  
（従来より20～30分早い判断ができるように！）
- ・ クラウドを通じて**関係部署間で容易にデータを共有でき情報連携がさらに図りやすくなった。**

